**2020年10月（第６版）
*2017年11月（第５版）（新記載要領に基づく改訂）
届出番号 12B1X10020000021

機械器具１　手術台及び治療台
一般医療機器・特定保守管理医療機器　汎用診療・処置台 13958000
I.C.U. ベッド（KA-8950）

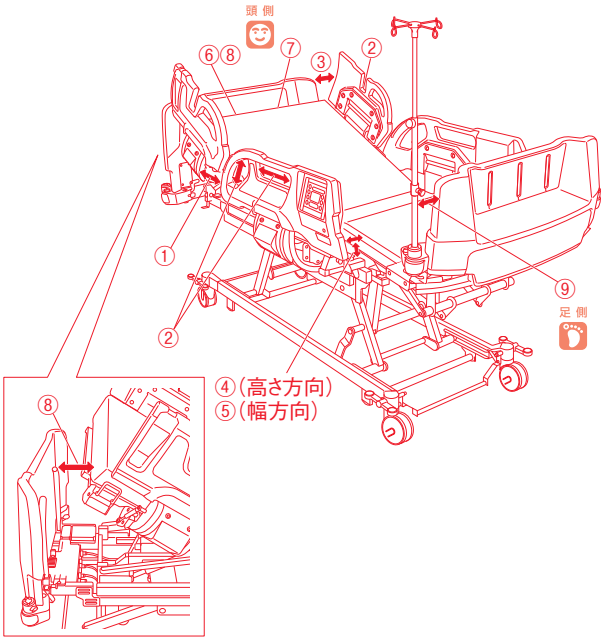
【警告】

●すき間に注意してください
また、処置などを行うとき以外は、ボードを取付けた状態で使用してください

［ベッドやサイドレールなどにはすき間があります。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）がはさまれて、けがをするおそれがあります。］
［下記に記載の項目に注意してください。］

①サイドレールとサイドレールのすき間
②サイドレールの内部のすき間
③サイドレールとボードのすき間
④サイドレールとマットレスのすき間（高さ方向）
⑤サイドレールとマットレスのすき間（幅方向）
⑥グリップとボトム・サイドレール・マットレスなどのすき間
⑦ボードとマットレスのすき間
⑧あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間
⑨Ⅳポール・けん引装置とボード・サイドレール・ボトム・マットレスなどのすき間

※図は一例です。



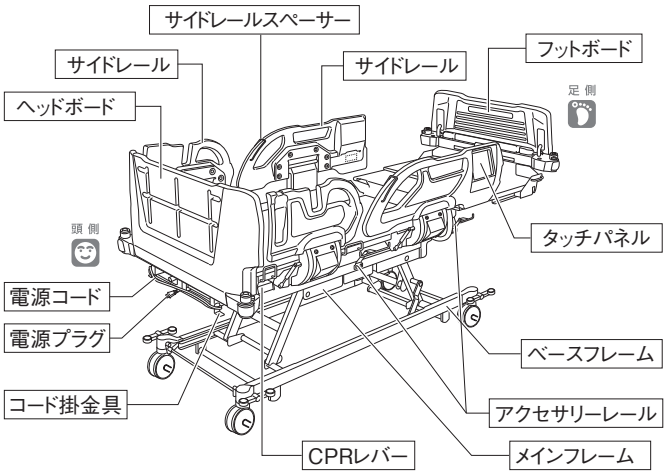
【禁忌・禁止】

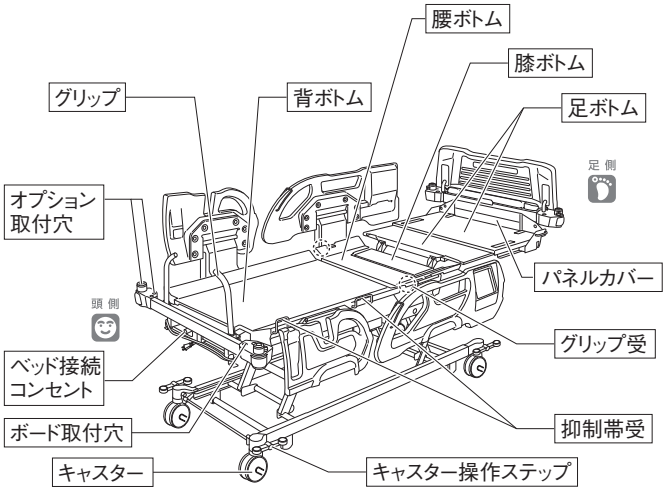
●小児（12 歳以下）には使用しないでください

［本製品は小児（12 歳以下）向けに設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。］
［サイドレールを使用していても、すき間から転落してけがをするおそれがあります。］

【形状・構造及び原理等】

■各部の名称





■主材料

ヘッドボード	ポリプロピレン
フットボード	ポリプロピレン
ボトム	スチール
メインフレーム	スチール
サイドレール	ポリプロピレン
グリップ	スチール（PA コーティング）
タッチパネル	変性 PPE ／ポリカーボネート

■動作原理

●ポジション動作：アクチュエーターの伸縮によるリンク機構

取扱説明書を必ずご参照ください

7F09129500A5

【使用目的又は効果】

●診察又は処置などを行う際に患者を適切な体位に変換するための電動式の台

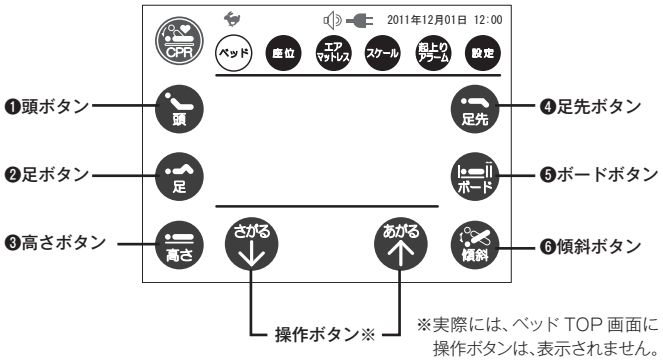
【使用方法等】

■設置方法

●取扱説明書に記載されている方法で設置してください。
●組立方法および記載されていない使用方法などについては、取扱説明書をご参照の上行ってください。

1. ベッドの操作

《ベッド TOP 画面》



（1）動作選択ボタンをタッチ

●ベッドの操作を行うときに❶～❻の動作選択ボタンのうち1つにタッチして、どの動作を行うかを選びます。動作選択ボタンにタッチすると、タッチしたボタンに応じた画面に切換わります。

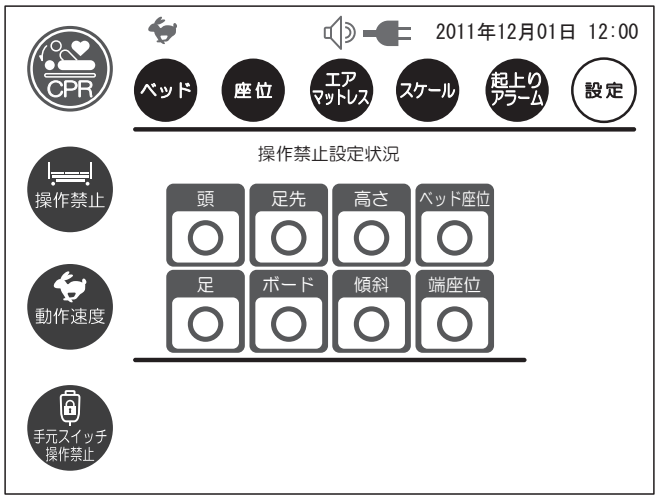
❶頭ボタン …… 背ボトムの角度を調節するときにタッチします。
❷足ボタン …… 膝ボトムの角度を調節するときにタッチします。
❸高さボタン …… ベッドの高さを調節するときにタッチします。
❹足先ボタン …… 足ボトムの角度を調節するときにタッチします。
❺ボードボタン … フットボードの位置を調節するときにタッチします。
❻傾斜ボタン …… ベッド全体の傾斜角度を調節するときにタッチします。

（2）操作ボタンをタッチ

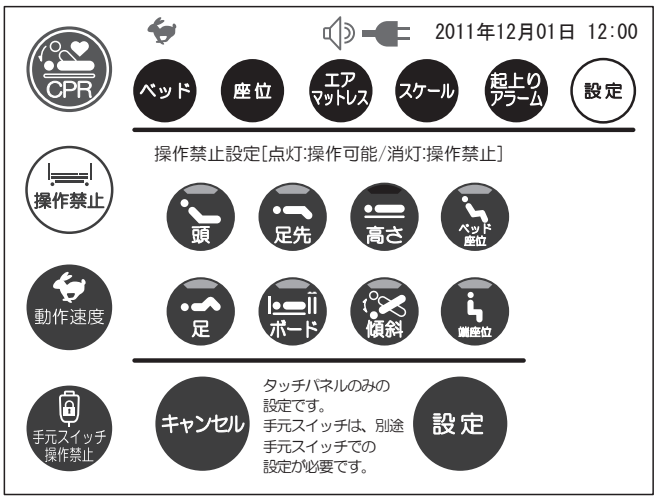
●ベッドは操作ボタンにタッチしている間動き、離すとその位置で止まります。また、1つのボタンにタッチしているときに、別のボタンにタッチした場合も止まります。

■操作禁止設定

《ベッド設定画面》



《操作禁止設定画面》



※操作禁止設定をしても、手元スイッチでの操作は禁止になりません。手元スイッチでの操作を禁止したい場合は、別途手元スイッチを操作禁止にしてください。

■タッチパネルの操作禁止設定をすることで、頭・足・足先・ボード・高さ・傾斜・ベッド座位・端座位それぞれのボタン操作を操作禁止または操作可能に設定することができます。

＜操作方法＞

1. 機能選択ボタンの「設定」ボタンにタッチし、設定 TOP 画面で「ベッド」ボタンにタッチしてください。
   ※この画面では「○」は操作可能を、「×」は操作禁止を表します。

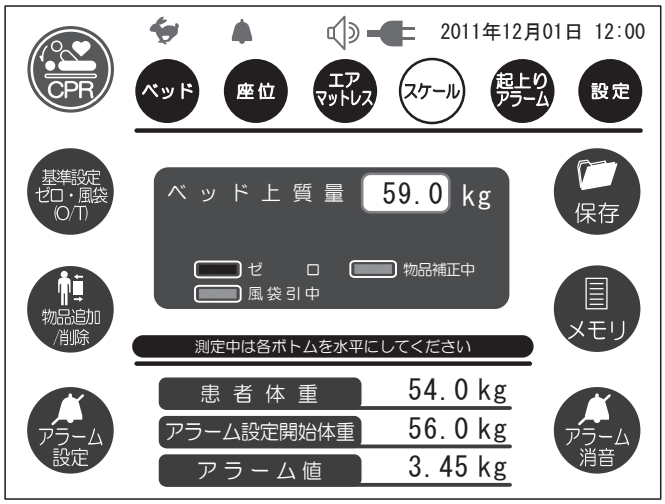
2. ベッド設定画面で「操作禁止」ボタンにタッチしてください。

3. 禁止にしたい操作のランプが消灯するようにボタンにタッチしてください。
   ※禁止にしない操作のランプは点灯したままにしてください。
   ※上図は、高さ操作禁止の設定例です。
   ※操作可能状態に戻すときは、消灯している操作のボタンにタッチしてください。ランプが点灯し、操作可能状態となります。

4. ボタンのランプを確認して「設定」ボタンにタッチしてください。設定が書き込まれ、ベッド設定画面が表示されます。

2. 体重の測定

■測定範囲は 2.0kg ～ 180.0kg です。測定はこの範囲で行ってください。



❶ 基準設定 ゼロ・風袋（0／T） ……ベッド上 質量の表示を 0.0kg にします。測定の際は、患者がベッドに乗る前の状態でベッド上 質量を 0.0kg にしてください。

❷ 物品 追加／削除 ……体重変化の測定を一時的に停止します。物品 追加／削除機能を開始すると、そのときのベッド上 質量（「患者体重」が表示されている場合はその体重）を「患者体重」に固定表示します。物品 追加／削除機能を終了するまで、「患者体重」は固定表示しますので、ベッドの上にものを載せたり、降ろしたりできます。

❸ アラーム設定 ……アラーム値の設定およびアラーム機能の実行ができます。アラーム機能を実行した場合、体重変化量がアラーム値を超えるとアラームが鳴り、ベッド上 質量が点滅します。アラーム機能を実行すると、そのときのベッド上 質量（患者体重が表示されている場合はその体重）をアラーム設定開始体重に固定表示します。

①ベッド上 質量 ……ベッド上の質量（ゼロ点補正あるいは風袋引きを行った場合は、これらを行った後にかかった質量）を表示します。
点灯：ベッド上の質量を更新しながら表示します。
点滅：モニタリング中の体重変化量が、アラーム値を超えています。
消灯：スケールでエラーが発生しているかサイドレールがさがっています。

②患者体重 ……物品 追加／削除機能を使用して、補正された質量を表示します。
点灯：補正された質量を更新しながら表示します。
点滅：物品 追加／削除機能を使用し、患者体重の測定を一時停止しています。
消灯：物品 追加／削除機能を使用していません。

③アラーム設定開始体重 …アラーム機能を開始したときの質量を表示します。
点灯：アラーム機能を開始したときのベッド上 質量（患者体重が表示されている場合はその体重）を固定表示します。
点滅：アラーム機能が一時停止中です。
消灯：アラーム機能を使用していません。

④アラーム値 ……アラーム値を表示します。体重変化量がアラーム値を超えるとアラーム音が鳴ります。アラーム値は OFF または 0.05kg ～ 9.95kg の範囲内で 0.05kg 単位で設定できます。
点灯：設定したアラーム値を表示します。
点滅：アラーム値を設定中です。
消灯：アラーム機能を使用していません。

⑤ゼロランプ ……点灯：ベッド上に荷重が加わっていません。
点滅：ゼロ点補正中あるいは風袋引き調整中です。
消灯：ベッド上に荷重が加わっています。

⑥風袋引中ランプ ……点灯：ベッド上の質量が風袋引き調整されています。
点滅：ゼロ点補正中あるいは風袋引き調整中です。
消灯：ベッド上の質量が風袋引き調整されていません。

⑦物品補正中ランプ ……点灯：物品 追加／削除機能を使用して補正された質量を、患者体重に更新しながら表示しています。
点滅：患者体重の測定を一時停止しています。
消灯：物品 追加／削除機能を使用していません。

3. 緊急背さげ操作

■緊急時や停電時などに、タッチパネルのＣＰＲボタンまたはＣＰＲレバーを操作することで、30 秒以内にＣＰＲ（心肺蘇生）を行いやすくすることができます。

●緊急背さげ操作を行うと、30 秒以内にベッドを 0°（水平）にすることができます。また、エアマットレスを接続している場合には、ベッド動作と同時にエアマットレスの緊急排気を行います。

ご使用のマットレスがアクアフロートマットレスの場合

通電状態	タッチパネルの CPR ボタン	CPR レバー
電源プラグ	すべてのボトムが 0°（水平）になります	背ボトムのみさがります
バッテリー		
通電無し※)	ご使用できません	

※）バッテリーが消耗して使用できない状態を含みます。

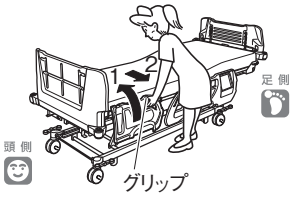
ご使用のマットレスがエアマットレスの場合

通電状態	操作方法	
	タッチパネルの CPR ボタン	CPR レバー
電源プラグ	すべてのボトムが 0°（水平）になり、エアマットレスの空気が抜けます	背ボトムのみさがります エアマットレスの空気は抜けません CPR ボードなどをご使用ください
バッテリー	すべてのボトムが 0°（水平）になります エアマットレスの空気は抜けません CPR ボードなどをご使用ください	
通電無し※)	ご使用できません	

※）バッテリーが消耗して使用できない状態、エアマットレスが正しく接続されていない状態を含みます。

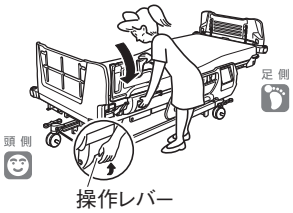
4. サイドレール

■サイドレールは患者のベッドからの転落および寝具の落下を予防することを目的としています。ベッド上に患者がいるときは、基本的にサイドレールをあげておいてください。また、サイドレールを乗り越える可能性のある患者には、必要に応じて抑制を行ったり、別売の補助サイドレール（取扱説明書参照）を使用するなど別の手段も講じてください。



■サイドレールのあげかた

❶サイドレールを持ちあげて、「カチッ」と音がするまで確実に押込んでください。
❷サイドレールを手前に引いてロックが掛かっていることを確認してください。



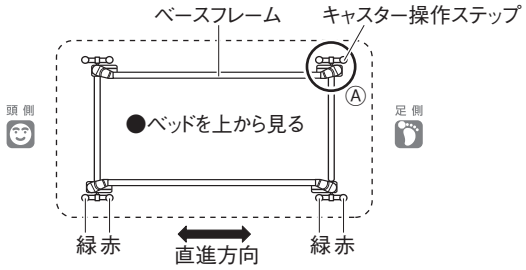
■サイドレールのさげかた

❶片方の手でサイドレールのグリップを持ち、奥（ベッドの中央方向）へ押してください。
❷奥へ押したまま、もう片方の手で保護カバー（取扱説明書参照）を少しめくりあげてから操作レバーを手前に引き、サイドレールを支えながら止まるまでサイドレールをさげてください。

5. キャスター

■トータルロックシステム

●頭側と足側にあるキャスター操作ステップを操作して次のいずれかに設定できます。



❶４輪固定（ロック）
赤色のステップを踏み込むと４輪すべての首ふりと回転がロックされます。

❷４輪解除（フリー）
ステップを水平に戻すとロックが解除され、４輪すべての首ふりと回転が可能になります。

❸直進固定（直進）
緑色のステップを踏み込むとキャスターⒶ（1輪のみ）の首ふりが直進方向でロックされます。直進性が向上し搬送しやすくなります。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

●次の操作を行う際は、周囲に人やものがないことを確認して行ってください
①ベッドのポジション操作
②サイドレールの操作
③エアマットレスのローテーション機能の操作
④フットボードの位置調節
[身体のはさまれや、ベッドや周辺機器の破損により、けがをするおそれがあります。]
[下記の項目に注意してください。
○可動部のすき間のはさまれ
○身体の一部がすき間に入った状態での操作
○ボードやオプション取付穴に取付けている機器などの落下
○患者につながっているライン
○抑制帯を取付けた状態での操作]

●サイドレールの操作は、ベッドの外側から看護する方が行ってください
[患者などがベッドの内側から操作すると、サイドレールが急にさがるなどしてベッドから転落し、けがをするおそれがあります。]

●ベッドの乗り降りや端座位をとる際はボトムを 0°（水平）にし、以下の項目に注意してください
[ボトムが 0°（水平）でない状態で乗り降りしたり、端座位をとったりすると、バランスを崩して転落・転倒して、けがをするおそれがあります。]
[アクアフロートマットレスは製品の特性上、素材の硬さが異なる部分があります。その境目が段差になり、バランスを崩して転落・転倒するおそれがありますので注意してください。]

●ベッドを移動させるとき以外は、キャスターにロックを掛けてください
[患者がベッドに乗り降りする際などに、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

●サイドレールをあげた状態でもベッドからの転落に十分注意してください
[エアマットレスのしっかりモードやローテーション機能動作中は、相対的にサイドレールの高さが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなり、転落してけがをするおそれがありますのでご注意ください。]

●ベッド座位機能を使用する際は、フットボードの上に立ちあがらないでください
[ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形するおそれがあります。]

●タッチパネルに強い衝撃を加えたり、鋭利なもので触れたりしないでください
[タッチパネルが破損して、感電したり、誤動作の原因となります。]
[タッチパネルが破損して流失した液体（液晶）には触れないでください。
○液体が身体や衣服などに付いた場合は、石鹸などを使用して水で洗い流してください。]

●突起物に衣類などが絡まないように注意してください
[ベッドの乗り降りなどの際に転落・転倒して、けがをするおそれがあります。]

●ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください
[ベッドが破損・変形して、けがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は 2100N（215kgf）です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。]

●ヘッドボード・フットボードがボード取付穴に確実に差込まれていること、ボードストッパーのロックが確実に掛かっていることを確認してください
[ボードの取付けが不完全な場合、ベッド移動でボードを押す(引く)ときや、身体を支えるためボードにつかまったときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。]

【保管方法及び有効期間等】

1）保管方法

＜保管時のベッドの状態＞

●すべてのボトムを水平にしてください。
●ベッドの高さを最低位置までさげてください。
●電源プラグを必ずコンセントから抜き、電源コードをコード掛金具に巻きつけてください。（取扱説明書参照）
●バッテリーの主電源スイッチを OFF にしてください。
●ベッド上にはマットレス以外のものを載せないでください。
●マットレスの上には何も載せないでください。
●ベッドは壁に立てかけたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。

＜保管する場所＞

●高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
※温度10～40℃、湿度30～75% RH の環境で保管してください。
●通気のある場所で保管してください。

＜バッテリー性能を維持するために必要な事項＞

●バッテリーを完全充電の上、必ず3ヶ月に1度は充電を行ってください。
●充電後は主電源スイッチを OFF にし、放電を防いでください。

2）耐用期間

●８年［自己認証（当社データ）による］但し、キャスターなどの消耗部品は除く。

【保守・点検に係る事項】

1）点検

＜使用者による保守点検事項＞

患者をベッドに乗せて使用する前に、取扱説明書に記載されている点検項目をチェックして、異常の無いことを確認してください。異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、販売店またはパラテクノコールセンター（取扱説明書参照）までお問い合せください。

＜業者による保守点検事項＞

点検頻度（時期）：年1回
摺動部、締結部、キャスターなどの点検

※業者による保守点検の詳細は、弊社または販売店までお問い合せください。
※当該製品の修理を行うには、医薬品医療機器等法に基づく修理業の許可が必要となります。

2）お手入れ

■汚れを落とす場合

●下記①～③の手順で行ってください。
①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■消毒する場合

●必ず下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

76.9 ～ 81.4%	消毒用エタノール
0.05 ～ 0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
0.05 ～ 0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）
0.02 ～ 0.05%	次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾール、シントー SV 乳剤、ユーホーサニクリーナー、トルサーは使用しないでください。変色・変質させるおそれがあります。
※オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1）製造販売業者

■パラマウントベッド株式会社
☎（0475）81-3000（千葉工場）

2）販売業者

＜パラマウントベッド株式会社＞

本　　社
〒136-8670　東京都江東区東砂２丁目14番５号 東京支店
☎(03)3648-1171(代)

札幌支店
〒060-0062　札幌市中央区南２条西13丁目318番地11
☎(011)271-1181(代)

仙台支店
** 〒984-0015　仙台市若林区卸町２丁目３番地の３
☎(022)239-5211(代)

さいたま支店
** 〒336-0967　さいたま市緑区美園３丁目23番１
☎(048)878-0100(代)

横浜支店
〒194-0004　東京都町田市鶴間５丁目３番33号
☎(042)795-8800(代)

名古屋支店
〒461-0001　名古屋市東区泉１丁目20番17号
☎(052)963-0600(代)

大阪支店
〒550-0001　大阪市西区土佐堀２丁目３番33号
☎(06)6443-8791(代)

広島支店
〒733-0011　広島市西区横川町３丁目８番５号
☎(082)293-1311(代)

福岡支店
〒812-0013　福岡市博多区博多駅東３丁目14番20号
☎(092)461-1131(代)

取扱説明書を必ずご参照ください

7F09129500A5